

そらこめ通信

No.61 2015年8月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

6月における日平均気温が昨年同月より3度以上も低かったことから、冷夏による不作の可能性もあるかも…と、先月号に掲載した今年の水稲の作柄ですが、7月に入り気温が上がり、少しずつですが回復の兆しがみえてきました。7月下旬には出穂が始まり、開花も始まっています。今のところ、平年に比べ5～6日くらいの遅れといったところでしょうか。

ブログを振り返ると、昨年は7月14日の時点で出穂、開花がかなり進んでいたようです。今年は昨年に比べると10日以上遅れがあり、私自身の気持ちの中に焦りのようなものがあつたのは確かです。ただ、冷静に考えれば、昨年は極端に早かっただけ。社長が言うには、平年では、7月24～25日頃が出穂、開花の時期なのだそうです。昨年もそうですが、ここ数年、気温が高い年が続いたことから、何となくそれらの数値が自分の中の「基準」(のようなもの)になっていたようで、改めて反省するところ大です(苦笑)。どうりで社長は全く焦ったようすがない。年季の違いでしょうか(笑)。まあ、お天道さまと、にらめっこ(あるいは知恵比べ)の商売ゆえ、焦ってみたところでどうしようもないのも事実ではありますが…。8月以降も引き続き好天に恵まれることを願うのみです。

話は変わりますが、7月19日静岡県西伊豆町で、手作りの電気柵による痛ましい事故が起きました。漏電遮断装置の有無や通電し放しの状態など、安全への配慮が足りないといえはその通り。普通は電気柵と家庭用電源を直接つなぐことはせず、パルス発生装置を使って一定間隔で通電するのが通常のやり方です。農家にとって必要な電気柵。確実に安全な方法で使ってほしいものです。



近隣の農業用ダムの横に祀られた「水神宮」に参拝する人たち(地元の人たちにとって、年に一度の大事な行事です)～昔も今も農業にとって、水は最も大事な資源です(7月3日)



グループ企業が所有している土地の草刈り作業(7月6日)



花卉ハウスの耕起作業(7月17日)



畦道に羽を休めているトンボ(7月19日)



「きたくりん」の圃場(7月19日)



「ゆきさやか」の圃場(7月19日)



「ふっくりんこ」の圃場(7月19日)



「ゆきがすみ」の圃場(7月19日)



鹿などの野生動物から圃場を守る電気柵～安全対策は万全です(7月19日)



「ゆめびりか」の圃場(7月19日)



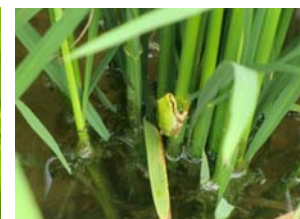
「おぼろづき」の圃場(7月19日)



「ななつぼし」の圃場(7月19日)



出穂が始まった「ゆめびりか」(7月27日)



稲の茎にしがみつくとアマガエル(7月27日)



コスモスの芽が出始めました(7月27日)

弊社の地域にも33戸が共同で布設している電気柵があります。野生動物から農作物を保護するため、農家にとっては無くてはならないものです。静岡の事故のように、パルス発生装置を付けずに、家庭用電源から直結すると、電流が流れ放しになり、誤って柵に触れた際に、筋肉の硬直などで柵から離れなくなる恐れがあるのだとか。誤った使い方での事故で、おかしな世論が高まらないことを願っております。

今後も、安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!